

作物名 **シタス** (キク科)

J A 2022 版

標準作型

○印・播種 △印・定植 □印・収穫

| 作 型 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|
| 露 地 |     |     | ○   | △   |     | □   |     | ○   | △   | □    |      |      |

栽培のポイント

30℃以上の高温時には発芽しにくくなるので、涼しい所で発芽させること。高温、長日での生育期間が長いと花芽分化する。播種期別に適品種を選定すること。

畑の準備 酸性土壤に弱いので、定植の1～2週間前には苦土石灰(10kg/a)、堆肥(100kg/a)を施しておく。

元 肥 初期の肥効が収量に影響するので、元肥中心の施肥をする。過湿に弱いので、排水対策をしておく。

(1 a 当たり使用量)

| 肥料名               | 作 型 | 施肥量   | 施肥時期 |
|-------------------|-----|-------|------|
| ジシアン有機化成<br>S806号 | 春まき | 24 kg | 定植前  |
|                   | 夏まき | 15 kg |      |

播 種 (種まき) 種子は好光性なので覆土は薄くする。また、30℃以上の高温では発芽しにくいので、発芽するまでは濡らした新聞紙をかけ涼しい場所に置く。

定 植 本葉が3～4枚になったら畑に定植する。マルチをしておく、降雨時の泥はねを防ぎ、病気を予防することができる。

収 穫 大きく結球したものを、かたくなる前に順に収穫する。切断面からの多量の白色乳液はよくふきとる。

防 除 灰色かび病、軟腐病が発生しやすいので注意し、初期防除を徹底する。害虫ではアブラムシ類の発生に注意する。